

2018年2月11日 主日礼拝

司 会 ①遠藤兄 ②塩野兄 ③原健兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②川田兄

賛 美 讃美歌461番「主我れを愛す」(Jesus loves me)
(Never worry) (栄光の雲が宮に満ちて)

ヤハツの祈り

聖 書 ①② ローマ人への手紙1章11～17節(P233)
③ マタイによる福音書21章18～22節(P34)

音 楽 ① 坪井永城師
②③ WINGS(衛藤姉・加藤姉・村川姉)

証 詞 ①② 山本淳子姉(ドルカス会)

メッセージ ①②「私たちの生き方(シリーズ信仰・2)」 倉知契副牧師
③ 「天使の言葉と悪魔の言葉」 大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「万物は言によって成った。成ったもので、
言によらずに成ったものは何一つなかった。」(ヨハネ一の一三)

【大和ニュース】

☆本日待望の『ウェストミンスター合唱団』による新春コンサート。指揮者も独唱者も、
混声合唱団もアジアにおけるトップクラス。今からでもお誘い合わせてご参加ください。
開演14時半(開場14時)。お子様は大人とご一緒に2階席へどうぞ！

・ 本日入門講座Ⅱ(坪井師)、手話、YYタイム(12:30森チャペル)

* 今週の祈禱会は特別聖会です。①水曜夜、②木曜朝は大川牧師(聖餐式)
③金曜夜は坪井先生(聖餐式)

* あす(祝日)は、中学生高校生のための「フットサル大会」(9:30Tipiにて)

・ 「土曜スクール」(森・9:30)は、子どもたちへの伝道集会です。楽しいですよ！

石の枕

フランシスコ・ザヴィエルの書簡にある最も感動的な話は、彼が自分の母校であり、またアシスタントとして教えていたパリ大学の人々を叱責したことです。吉田小五郎著『ザヴィエル』（吉川弘文堂）の中で、「御身らの怠慢のゆえに、いかに多くの魂が天国へ行かず、地獄におちているか」と狂人のように叫びたい、という手紙です。

何度読んでも心が痛み、恥しくて涙が出てくる。

先週お話し致しました「26聖人殉教物語」の背後には、このような情熱があった。26人だけでなく、「ころべば」逃げられたのに、殉教を甘んじた人々が30万人から100万人いたという。ものすごいバイバルであった。

1594年のことであるから、ザヴィエルが来日してから45年後のことであるが、東京の開拓伝道も「狂人のように叫びたい」群でありたい。勿論、各支教会もそうであるべきであろう。

God is crazy about you! 神様は、あなたに夢中です。魂の救いのために、御子イエス様を地上に遣わし、見殺しにされた。イエス様もお逃げにならず、自ら進んで、十字架の道を歩まれた。キリスト教の福音宣教は、ある意味で「狂人の御業の連続」であった。

東京の新教会は、中野区に位置するが、西新宿のイメージであり、渋谷区も杉並区も近い。忠実に誠実に取り組みたい。私の健康が強くされるように、担当伝道師たちに一致が与えられますようにお祈りください。

献金も必要です。祈って主からの示しをお捧げください。教会債も歓迎します。

私も福音宣教のために狂いたい。イエス様にならいたい。パウロの如く、ペテロの如く、ルターの如く、ウエスレーの如く、私の父の如く……。

●ジョーク●小国の首相が閣僚を集めて協議していた。「この際だからアメリカに宣戦布告をして敗れてやろうじゃないか。その方が、連中にインフラを整備してもらえ、食料も配給してもらえ。国を豊かにする裏技だ」

「でもちょっと待って下さい」と心配顔の閣僚が横やりを入れた。

<こちらが勝っちゃったらどうします???>

☆冬のオリンピックが平和でありますように祈ります。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:マタイ26章~マルコ1章 Bコース:レビ記12~25章